

開学20周年に寄せて



奈良先端科学技術大学院大学同窓会会長
門 田 暁 人

このたびは奈良先端科学技術大学院大学が創立20周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

奈良先端科学技術大学院大学は、この20年間に6,000名を超える修了生を輩出されており、企業や大学等、さまざまな分野における修了生の活躍をよく耳にするようになりました。また、大学としての評価も、平成21年度に文部科学省国立大学法人評価委員会による第一期中期目標・中期計画の評価において86国立大学法人中の総合評価1位を獲得するなど、トップクラスの実績を上げられております。さらには、共同研究も大変活発であり、教員一人当たりの特許ライセンス料収入と大学発ベンチャー数が全国第1位となるなど、産業界との連携についても目覚ましいものがあります。私自身も情報科学研究科の第二期生として入学しましたが、当時は修了生がおらず、大学としての評価も定まっていない中、期待半分・不安半分で飛び込み受験したという状況でした。当時のことを思うと、今日の母校の発展は大変感慨深く思います。まさに教職員の皆様のご尽力、在校生・修了生の皆様のご活躍のたまものであり、私自身、奈良先端科学技術大学院大学の修了生であることを大変誇りに思っております。

奈良先端科学技術大学院大学同窓会は、同窓生相互の親睦を図ること、および、母校の教育研究支援等を行うことを目的として、平成12年に設置されました。その後、紆余曲折があり、活動休止状態にありましたが、昨年度、同窓会便りの準備号の発行を行うとともに、オープンキャンパス（高山サイエンスタウンフェスティバル）に合わせて母校にて同窓会総会を開催し、会計報告、同窓会会則の改正の承認と、新役員の選出を行いました。今年度はホームカミングデーの一環として、けいはんなプラザにて同窓会総会と懇親会（同窓会パーティ）を開催いたしました。おかげさまで、昨年度は20名、今年度は32名の参加がありました。出席者の顔ぶれを見ますと、第一期の修了生から近年の修了生まで幅広い年代の方が集まり、先生方にもご出席いただくことができました。創立20周年をして、ようやく、同窓会らしい同窓会を開催することができたと喜んでおります。また、研究科単位、および、研究室単位でも、近年は活発に同窓会が開催されていると聞き及んでおります。今後も修了生はますます増えていき、大いに活躍されることと思いますが、ふとしたときに母校の様子が気になったり、在校時の友人や恩師が懐かしくなることもあるかと思っております。その際の受け皿として、微力ながら同窓会がお手伝いをできればと思います。

今後の奈良先端科学技術大学院大学のますますのご発展を祈念いたしますとともに、当同窓会としても共に歩んでまいりたいと思います。